

令和7年7月18日（金）第1学期終業式式辞

今日で1学期が終了します。

1学期を振り返ってみますと、217名の新生を迎え、全校生徒596名で今年度がスタートしました。5月には、中間考査や運動会ブロック集会、6月には6学科の特徴を踏まえた1年生の職場見学、友人との交流を深めた2、3年生の遠足を実施したほか、部活動では117名の生徒が出場した県総体、四国総体では女子卓球部の新谷さん、ライフル射撃部が出場を果たしました。そして昨日行われました高校野球でも継続試合となりましたが、雨の中、必死にプレーする選手、応援する生徒が一体となり、伊予農が一つになった瞬間を味わいました。是非、この勢いを明日につなげてほしいと思います。

農業クラブ活動においては、フラワーデザイン競技県大会で優秀賞・作品賞、家畜審査競技県大会では最優秀賞を受賞するなど愛媛県の農業高校の基幹校としての意地を見せることができたと思っています。

さて、夏休みを迎えるにあたり、生徒の皆さんには4月から今日まで自分の生活を少し振り返っていただきたいと思います。

私からは、始業式に

①少しでもいいから成長した自分を見つけてほしい。

②感謝の気持ちを忘れないでほしい。

ということをお願いしました。各自が立てた目標を含めて、その達成状況はいかがでしょう。

成長した自分を見つけられましたか。また、だ

れでもいいから「ありがとう」の一言が言えていますか。

もし、まだできていないと思う人は、今日から明日からでもいいので、もう一度挑戦してみてください。

皆さんも知っていると思いますが、アメリカ大リーグの大谷翔平選手は、6月16日に、右肘手術から1年10か月ぶりにピッチャーとしてマウンドに立ちました。結果は1回1失点ではありましたが、試合後のインタビューで、「本当にうれしい気持ち。いろんな方の支えがあってここまで復帰できた。その方々に感謝したい」と話されています。今や誰もが認めるスーパースターである大谷選手ですが、超一流プレーヤーたる所以は、常に感謝の気持ちを持ち、謙虚さを失うことなく日々前向きに試合に臨んでいるからこそであると思います。

そして、いつも私たちに夢と感動を与え続けてくれていることに私も感謝しました。

皆さんも、毎日の学校や家庭生活の中で、感謝の気持ちを忘れず、成長する自分と向き合ってほしいと思います。

明日から夏休みとなりますが、実習や部活動、農業クラブ活動で忙しい毎日かと思います。3年生は就職・進学に向けて本格的に活動する夏休みとなります。2年生は部活動で中心的な役割を担うこととなります。1年生は高校生活にも慣れ、伊予農生の自覚を持って過ごすこととなります。生徒の皆さん一人一人が挑戦する夏休みとなることを願って、1学期終業式の式辞といたします。